

平成 28 年度 入間東部地区消防組合 決算概要

《歳入》32 億 4,616 万 6,821 円

費目	収入額
分担金及び負担金	2,996,234,000 円
繰越金	122,840,145 円
組合債	93,300,000 円
国庫支出金	19,230,000 円
その他	14,562,676 円

分担金及び負担金内訳

三芳町	603,983,547 円
富士見市	1,145,112,702 円
ふじみ野市	1,247,137,751 円

《歳出》31 億 9,571 万 3,339 円

費目	執行額
消防費	2,848,734,182 円
公債費	341,106,865 円
議会費	4,549,638 円
その他	1,322,654 円

消防費内訳

- ▶常備消防費 27 億 603 万 6,532 円
- ▶非常備消防費 1 億 4,269 万 7,650 円

各市町消防団運営費		
三芳町	消防団費	25,566,734 円
富士見市	消防団費	64,121,661 円
ふじみ野市	消防団費	53,009,255 円

▼ 消防組合からのお知らせ

▶ 11月9日から15日まで 秋季全国火災予防運動

火災が発生しやすい時季を迎える前に、一人ひとりが自主的に火災予防の対策を行うことを働きかけるため、秋季全国火災予防運動を実施します。消防法違反の事業所に対する是正指導強化、一般家庭防火診断のほか、産業祭などの場で「火災予防キャンペーン」を実施し、住宅用火災警報器の設置、消火器等の悪質訪問販売の被害防止などの呼びかけを行います。

▶ 11月9日(木) 14:00～15:30

県下一斉住宅用火災警報器啓発運動 (三井ショッピングパークららぽーと富士見)

▶ 11月12日(日) 9:30～15:00

三芳町産業祭 (三芳町立運動公園)

▶ 平成 30 年 4 月 1 日運用開始 違反対象物の公表制度

【公表制度とは】 消防が立入検査の際に確認した重大な消防法令違反をインターネットにより公表する制度。

公表の対象となる建物	飲食店・百貨店・病院・社会福祉施設等の一般の方が利用する建物
公表の対象となる重大な消防法令違反	消防法令で義務付けられている、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備が一切設置されていない違反のこと
公表までの流れ	立ち入り検査で違反を確認し、通知した日から 14 日が経過した日に、なおその違反が継続していると認められる場合に公表
公表の内容	建物の名称、所在地、違反の内容 (当該違反部分を含む)、その他消防長が必要と認める事項
公表の方法	入間東部地区消防組合 HP 内「違反対象物公表制度」に掲載

みんなの消防

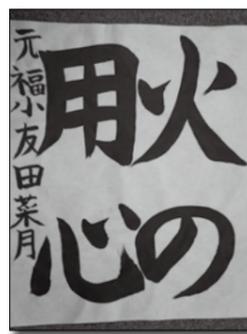
入間東部地区消防組合 (三芳町・富士見市・ふじみ野市)
〒356-0058 ふじみ野市大井中央 1-1-19 ☎261-6000(代) ㊚261-4395
㊚ http://www.irumatohbu119.jp/ ㊚ : shobo@irumatohbu119.jp(代)
火災の問い合わせ ☎049(263)0119 (音声案内)
救急病院の御案内 ☎049(261)6031 (休日・夜間)

▼ 防火作品の紹介

火災予防喚起、防火意識の普及を目的とした防火作品を募集しました。審査の結果、最優秀賞が次のとおり選出されました。最優秀賞及び優秀賞の作品は火災予防運動などの PR に幅広く活用します。

【応募総数】

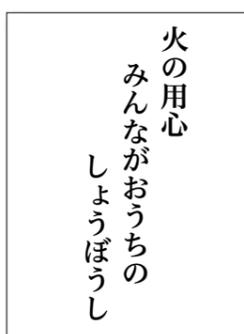
- ▶防火習字の部…968 件
- ▶防火ポスターの部…723 件
- ▶防火標語の部…30 件



- 習字の部 -
元福小学校
友田 菜月
ともた なつき



- ポスターの部 -
駒西小学校
齊藤 好花
さいとう このが



- 標語の部 -
ふじみ野市
坂元 桃香
さかもと ももか

▶ 第 46 回 全国消防救助技術大会で入賞

日頃の訓練成果を発揮し → 見事入賞。

平成 29 年 8 月 23 日 (水) に宮城県総合運動公園で開催された全国大会において、当消防組合から「ロープブリッジ救出」「障害突破」の訓練に各 1 チームが出場しました。

隊員たちは、県指導会、関東地区指導会を勝ち抜き、関東地区の代表として晴れ舞台に挑みました。日頃の訓練成果を十分に発揮し、入賞を果たすことができました。



▶ 11月9日は「119番の日」通報要領

119 番通報の際、通報者は身の回りの安全を確認し、下記表の間かれる内容に、落ち着いて情報提供をお願いします。

- ・ 通報場所の住所を確認。分からない場合は、近くの人に聞く、道路の看板、電柱等の表示で確認する。
- ・ 車の運転中は、一旦安全な場所に停車してから通報する。
- ・ 電波の特性上、管轄外の消防本部へつながる場合があり、住所を確認後、管轄に転送される。繰り返し情報提供する。
- ・ 確認のため消防本部から折り返し電話をかけることがある。携帯電話・PHS の電源は入れたままにする。

①・②共通	・住所 (近くの目標物) ・通報者の氏名、電話番号
①救急の場合	・誰がどうしたのか (事故か急病か)
②火災の場合	・何が燃えているか ・逃げ遅れはないか

言葉や文化の壁を越えた交流 中学生海外派遣 in マレーシア

異国の歴史や文化にふれることで、新しい自分の発見と国際社会の中で活躍できる人材を育成することを目的とした中学生海外派遣を今年も実施しました。

教育だより 閩学校教育課 内線 522



こんなことを してきました!

期日	スケジュール
7/23	三芳町発・成田空港～マレーシア着
7/24	全校集会・歓迎会 学校での授業参加、料理教室
7/25	授業参加、異文化交流、セラングア 視察、民族・歴史の勉強、虫観賞
7/26	クアラルンプール市内視察
7/27	プトロジャヤ視察 (新都心) 感謝会とさよならセレモニー
7/28	成田空港着・三芳町へ

6 日間の異文化交流を体験

7月23日からの6日間、町内中学生 10 人がマレーシアに海外派遣で現地校との交流やホームステイを実施。帰国後、町や各中学校での報告の場で、異文化に触れて感じた想いを伝え、国際的な視野を広げることができました。

参加者に聞きました! 帰国後のひとこと

- ▶英語に不安を感じましたが、言葉よりも気持ちが伝われば大丈夫ということがわかりました。英語をたくさん勉強して、色々な国で通じるか試してみたいと思いました。
- ▶生徒もホストファミリーもみんな優しい人ばかりでした。
- ▶マレーシアの歌や踊りに感動しました。日本の書道やよさこいソーラン節も喜んでもらえて良かったです。
- ▶宗教の違いを実感しました。マレーシアの人は、とても素直で礼儀正しい人たちだと感じました。

心に残る たくさんの思い出

- ①船の上でマレー料理の食卓会。少しスパイスだけど美味しかった。
- ②温かく優しいホストファミリーの皆さん。
- ③在マレーシア日本大使館を訪問。
- ④日本の伝統文化「書道」に興味を持つマレーシアの人が多くわかりました。
- ⑤家庭科の授業で、チキンパフ作り。
- ⑥近未来的な外装と、伝統的な内装の調和の素晴らしいさに感動。

